



尾山台小だより

7月号

学校教育目標【明るい子 考える子 たくましい子】

～確かな学力を身に付け、心豊かにたくましく生きる児童の育成～



〔尾山台小ホームページ〕<http://www.city.ageo.lg.jp/site/oyamadai-elementaryschool/>
または、「上尾市」ホームページ→「上尾市立幼小中学校」→「尾山台小学校」をクリック

お陰様で「子供ファースト」を

校長 熊坂 由美子

先月の学校便りに、6月は行事が色々あるので、無事に実施できることを願うと書きましたが、お陰様をもちまして、ほとんどの行事を予定通り実施することができました。明日からは5年生の林間学校、7月は6年生の修学旅行と2つの宿泊学習を予定しています。また、1学期のまとめの月になります。子供たちの様々な学習や体験の場を止めないために、保護者の皆様方には、何度も繰り返しになりますが、感染症対策の徹底を引き続きよろしくお祈りします。未だ予断を許さない状況にあることを御理解いただき、不要不急の外出、御家族以外とのマスクを外しての長時間におよぶ会話や会食などを控え、安全に楽しく学校に通えるよう、「子供ファースト」に御一緒に取り組んでまいりましょう。どうぞよろしくお祈りいたします。

さて、「お陰様」の意味を辞書で調べますと「他人から受ける助力や親切に対して感謝の意を表わす言葉」とあります。語源も調べますと「『陰』は神仏などの偉大なものの陰で、その庇護（ひご）を受ける意味として使われている」とあります。学校で生活をしていると、様々な方のお力添えに感謝する毎日です。常日頃から「お陰様」という言葉が浮かびます。

子供たちがいて初めて「学校」は「学校らしく」なります。子供たちの笑顔や歌声、校庭を元気に走り回る姿があってこそその「学校」です。私たち教職員は、子供たちと毎日、新しいことを学び、発見し、喜び合うことができる機会をいただいています。教員のなり手が減っているというニュースも耳にしますが、私は、本当に素敵な職業だと自負しています。

その大切な子供たちを、毎日、学校に送り出してくださる保護者の皆様に、まずもって感謝いたします。そして、子供たちを見守り、支援してくださるPTA、学校応援団、地域住民の皆様。日頃の登下校の見守り、子供たちへの挨拶の声掛け、読み聞かせや学校図書館整備、学校環境美化の除草活動など、様々な場面でお世話になっています。また、学校経営について様々な視点から御意見をいただく学校運営協議会委員の皆様。いつも厳しくも温かいご指摘に感謝いたします。

皆さん、すべて「子供ファースト」で動いてくださっています。大変有り難いことです。お陰様をもちまして、充実した1学期も残りわずかとなりました。暑さも本番となります。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞご自愛ください。

〇7月21日からは夏休みが始まります。自転車で外出する機会も増えることが予想されます。交通安全の面から、3年生の交通安全教室（今年は11月予定）で自転車の乗り方を学習するまでは、子供だけの自転車使用は控えましょう。また、お子様の命を守るヘルメットの着用について、改めて御確認をお願いいたします。